にいがた新築大作戦 ⑩

設計コンペ（上）

「平面プラン」を募集

土地を購入し登記も終了して、土地は私のものになりました。土地をそのままにしておいても何の役にも立ちませんので、早速家の間取りを考え始めました。

新潟の気候の特徴は冬の積雪と厳しい夏の日射ですので、屋根付きの駐車場がぜひとも必要だと思っていました。

購入した土地は道路面から一メートル程度高くなっていましたから、この部分を削り取って、一階に車庫、二階に居間などの共通部分、三階に個室を配置するのが合理的と考えました。確かに、客が泊まりに来たときには便利かなと考え、客間は和室にすることにしました。

土地の用途地域は住居市域で建ぺい率60％、容積率は200％でした。そこで、敷地の図面を方眼紙に書いて、法律的に建てられる最大の面積の平面を書いてみました。日本の家のほとんどは畳の大きさを基準に設計されていますので、升目一個を半畳と考えると、この部屋は六畳とか四畳半とかの目安がつきます。

必要な部屋の大きさに紙を切って、平面の上でしばらくパズルをしてみました。何だか学生時代に戻ったような気がしました。そういえば建築学科の学生時代に住宅の設計課題があったなと思いだし、ついでに設計が大嫌いだったのも思いだしました。

設計そのものは楽しかったのですが、終わった後に発表会があり、設計の先生が講評します。設計の先生はほとんどがデザイン系で外観が面白くないとか、動線が良くないとか、いいことをいわれたためしがありません。

自分に設計の能力が乏しかったこと、抜群のセンスを持っている同級生がいたことを思い出した瞬間、自分で間取りを考えることを放棄することにしました。

家内とも相談し、知り合いの工務店を対象として設計コンペを開くことにしました。敷地の条件、必要な部屋、住宅の性能を発注書に書き、これを工務店に渡して平面プランを募集することになりました。

（赤林伸一・新大自然科学研究科助教授）

■わが家の発注仕様書（土地）■

土地の状況	
住所	新潟市○△町□丁目◇番地
用途地域	住居地域
前面道路	南側、幅員8m
方位	間口が南南西方向
建ぺい率	60%
容積率	200%
面積	125.94㎡ 9.12m（間口）× 13.81m（奥行き）
高さ	前面道路より約1m高い
下水道	浄化槽
周囲状況	周囲は住宅地で2階建て住宅 前面道路は袋小路 詳細は現地で確認